

ディスクロージャー誌

平成28年度上半期

淡路日の出農業協同組合

住所 兵庫県淡路市志筑3112-14

電話 0799-62-6200(代)

目 次

ごあいさつ	
JAのプロフィール	1
1. 経営理念	2
2. 経営方針	2
3. 事業活動のトピックス	3
4. 農業振興活動	4
5. 地域貢献情報	5
6. 事業の概況(平成28年度上半期)	6
(1)主要事業	6
(2)事業実績の推移	7
(3)有価証券の時価情報	7
(4)自己資本比率(単体)	7
7. 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況	8

ごあいさつ

日頃、皆さま方には格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。

JA淡路日の出は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、当JAの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、わかりやすくまとめた「平成28年度上半期ディスクロージャー誌」を作成いたしました。

皆さまが当JAの事業をさらに安心してご利用いただくため、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

淡路日の出農業協同組合
代表理事組合長 石 田 正

プロフィール(平成28年9月末)

設 立	平成5年10月1日(6JA合併)
本 店 所 在 地	兵庫県淡路市志筑3112-14
出 資 金	18億円
総 資 産	2,464億円
組 合 員 数	16,811名
役 員 数	24名
職 員 数	311名
支店・事業部数	11支店・1事業部

1. 経営理念

当組合は、洲本市・淡路市を事業区域とした都市近郊農村地帯で、農業者をはじめ地域住民の方々が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合い、お互いに発展していくこと)を共通の理念として運営している協同組織です。

当組合の資金は、その大半が組合員および地域住民の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員および地域住民の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業および地域の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。そのため、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、食料の安全性の確保、環境保全・地域社会への貢献という社会的使命をはたすための諸活動を展開しています。

協 同 の 力 で 、 農 業 と く ら し に 貢 献 す る J A

～JA淡路日の出は、協同の理念を学び実践を通じて、地域社会への貢献をおこない、「農業」と「暮らし」を豊かにすることをめざします。～

2. 経営方針

◇ 地域農業戦略

これまで農業を担ってきた「昭和一桁世代」から「団塊の世代」を含む「次の世代」への交代が進むなか、地域農業の将来ビジョンを示し、それを実現するために「産地育成」「担い手育成・支援」「販売力強化」を基本とした地域農業戦略を実践します。

◇ 地域暮らし戦略

JAの活動・事業を通じて、組合員・地域住民のニーズに応え、地域社会に貢献します。そのため、JA事業の具体的取り組み方策や事業の進め方、事業目標などを明らかにします。

◇ 組合員組織戦略

JA組織基盤の維持をはかるため、組合員の世代交代を円滑にすすめます。また、組合員の加入促進によるJA事業基盤の拡充に取り組むとともに積極的な組織活動に努めます。

◇ 経営基盤戦略

JA事業の各部門の収支状況を適宜・適切に算出します。また、地域性や現状を十分認識しながらJA組織の改善すべき項目などを検証します。さらに、人材育成に取り組めます。

3. 事業活動のトピックス(平成28年度上半期)

月 日	おもな行事
4月1日	新入職員入組式
4月5日	たまねぎ部会役員会
4月22日	淡路島たまねぎ生産者大会
4月23日	JA淡路日の出四国八十八ヶ寺逆打ちお遍路の旅(第1回)
5月9日～12日	全国監査機構期末監査
5月20日～21日	JA淡路日の出四国八十八ヶ寺逆打ちお遍路の旅(第2回)
5月21日～22日	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦「阪神対ソフトバンク」 (佐野運動公園)
6月21日	いちじく部会役員会
6月24日	ピーマン部会出荷協議会
6月24日	新五色浜海水浴場清掃(五色支店)
6月24日～25日	JA淡路日の出四国八十八ヶ寺逆打ちお遍路の旅(第3回)
6月25日	第23回通常総代会
7月9日	炬口海岸清掃(洲本支店)
7月12日	ピーマン部会視察研修
7月15日～16日	JA淡路日の出四国八十八ヶ寺逆打ちお遍路の旅(第4回)
7月18日～20日	若トラを励ます会「阪神応援ツアー」対巨人戦
7月23日～24日	農機・自動車合同展示会
7月24日	一宮支店感謝祭
7月30日	JA淡路日の出アマカ会員夏休み特別企画「親子ふれあいツアー」
8月5日	県立佐野運動公園清掃(津名支店)
8月5日	北淡県民サンビーチ清掃(北淡支店)
8月12日～14日	若トラを励ます会「阪神応援ツアー」対中日戦
8月14日	北淡支店感謝祭
8月19日～20日	JA淡路日の出四国八十八ヶ寺逆打ちお遍路の旅(第5回)

月 日	おもな行事
8月20日	東浦淡路支店感謝祭
8月20日	伊弉諾神宮清掃(一宮支店)
8月22日	洲本支店感謝祭
8月24日	農業用廃ビニール回収
8月28日～29日	JA淡路日の出りフレッシュ旅行「大河ドラマの舞台信州上田と別所温泉と美ヶ原高原と松本城1泊2日の旅」
9月9日	道の駅東浦ターミナルパークおよびサンビーチ周辺清掃 (東浦淡路支店)
9月10日	洲本市畜産共進会(五色県民健康村)
9月14日	淡路市畜産共進会(淡路家畜市場)
9月23日～24日	JA淡路日の出四国八十八ヶ寺逆打ちお遍路の旅(第6回)

4. 農業振興活動

JA淡路日の出は、地域農業の振興を図るとともに、農業を通じて豊かな地域社会の発展を目指すために、次のような農業振興活動に取り組んでいます。

(1) 産地育成

地域の特色を活かした農産物を継承し、活力ある地域農業づくりを図るため、地域に密着した農業基盤の確立に取り組めます。

(2) 担い手育成・支援

農業者とJAが一体となり地域農業が活性化できる体制を整備し、地域に密着した組織基盤の確立に取り組めます。

(3) 販売力強化

生産の効率化や販売の多様化、ブランド力による差別化を図り、提案により農家所得向上に取り組めます。

5. 地域貢献情報

JA淡路日の出は、協同組合活動の原点である組合員の「組合員の営農と暮らし」を守り、地域農業の振興に努めるとともに、地域社会の発展に貢献するため様々な活動を展開しています。

(1) 社会貢献活動

① 環境問題への取り組み状況

「地球にやさしい農業」への取り組みとして、定期的に廃プラスチック・ビニール等の回収および不要農薬の回収を実施しています。

(2) 地域貢献活動

① 地域からの資金調達の状況

ア. 貯金残高(平成28年9月末現在)

(単位:百万円)

種 類	残 高
当 座 性	36,217
定 期 性	190,196
小 計	226,413
譲 渡 性	0
合 計	226,413

② 地域への資金供給の状況

ア. 貸出金残高(平成28年9月末現在)

(単位:百万円)

種 類	残 高
農業近代化資金	11
その他制度資金	134
農業関連融資	243
事業関連融資	12,205
住宅関連融資	19,426
生活関連融資	602
そ の 他	313
合 計	32,934

③ 文化的・社会的貢献に関する事項

ア. 福祉活動

介護保険制度の訪問介護事業者の指定を受け、サービスの提供を行っています。また、高齢者への生活介護援助・助け合いなどの活動に取り組んでいます。

イ. 職員の地域貢献活動への参加

職員は、地域清掃活動や消防団活動をはじめとした社会活動に積極的に参加し、地域に根ざした活動を実践しております。

ウ. スポーツイベントの開催

スポーツを通じて、青少年の健全な育成のための活動を行っています。

6. 事業の概況(平成28年度上半期)

日本経済は、雇用情勢が改善するなど力強さを欠くものの緩やかな回復基調にあります。

一方、金融政策では今年2月から日本銀行がマイナス金利政策を導入しており、その影響が懸念されるところです。また、改正農協法及び関係法令が28年4月1日より施行され、今後5年間で農協改革の集中期間として自己改革を進めていくことが求められているなど、JAを取り巻く先行きは依然として厳しいものとなっています。

このようななか、本JAでは堅実で健全な経営を基本理念として、主要事業については、次のことに取り組みました。その結果、平成28年9月末日現在の当期剰余金は4億円となり、計画対比83.5%となりました。

(1) 主要事業

① 信用事業

利用者に信用・信頼される地域金融機関としての機能の充実に努めるとともに、新規開拓に取り組み、取引先の拡大をはかりました。

この結果、9月末貯金残高は2,264億13百万円と期首残高に対して100.8%となりました。

また、貸出金は住宅・自動車・教育ローンおよび地方公共団体貸付等の獲得により、9月末貸出金実績は、329億34百万円となりました。

② 共済事業

組合員とその家族、さらには地域住民を含めた幅広い普及活動の展開により、長期・年金・自動車・自賠責共済など必要な人に必要な保障の提供をはかる推進活動を展開しました。

この結果、長期共済の新契約高は9月末現在で213億62百万円の実績となりました。

③ 購買事業

利用者ニーズに応えた安全・安心で適正な商品を提供しました。

この結果、購買品供給高は、9月末現在で11億93百万円の実績となりました。

④ 販売事業

生産者部会を中心に、生産履歴の記帳を徹底し、消費者への食の安全・安心と信頼の確保に努めました。

この結果、販売品販売高は、9月末現在で25億46百万円の実績となりました。

⑤ 指導事業

品質向上に向けた栽培方法やコスト低減に向けた栽培体系の見直し、新たな栽培・防除技術の導入に取り組みむとともに、農業の担い手の育成に努めました。

(2) 事業実績の推移

(単位:百万円)

項 目		平成28年9月末	平成28年3月末	平成27年9月末
信用事業	貯 金	226,413	224,499	221,614
	貸 出 金	32,934	32,821	33,763
	預 金	189,768	186,526	182,884
	有 価 証 券	8,059	8,054	8,045
共済事業	長期共済保有高	494,017	497,206	499,760
	長期共済新契約高	21,362	33,695	21,382
	短期共済新契約掛金	287	646	290
経済事業	購買品供給高	1,193	2,744	1,300
	販売品販売高	2,546	5,992	2,598

(3) 有価証券の時価情報

(単位:百万円)

保 有 区 分	平成28年9月末			平成28年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	4,007	4,427	420	4,007	4,424	417
そ の 他	3,730	4,051	321	3,730	4,047	317
合 計	7,737	8,478	741	7,737	8,471	734

- (注) 1. 時価は市場価格等により計上しています。
2. 取得価格は取得原価または償却原価により計上しています。
3. 満期保有目的の債券については、取得価額を計上しております。
4. その他有価証券については、時価としております。

(4) 自己資本比率(単体)

平成28年9月末	平成28年3月末
22.64%	22.38%

(新BIS基準による)

7. 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況

(単位:百万円、%)

債権区分	平成28年9月末	平成28年3月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	22	2
危険債権	2	2
要管理債権	0	0
小計(A)	24	4
保全額(合計)(B)	24	4
担保	1	3
保証	21	1
引当	2	0
保全率(B/A)	100	100
正常債権	32,948	32,865
合計	32,972	32,869

(注)1. 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のとおり区分したものです。

①破産更正債権及びこれらに準ずる債権

法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

②危険債権

経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本及び利息の回収ができない可能性の高い債権

③要管理債権

3ヵ月以上延滞貸出債権(元金又は利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権)及び貸出条件緩和貸出債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援をはかり、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)

④正常債権

上記以外の債権

(注)2. 平成28年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債務者区分を変更し、各債権額は平成28年9月末時点の残高に修正しています。



JA淡路日の出